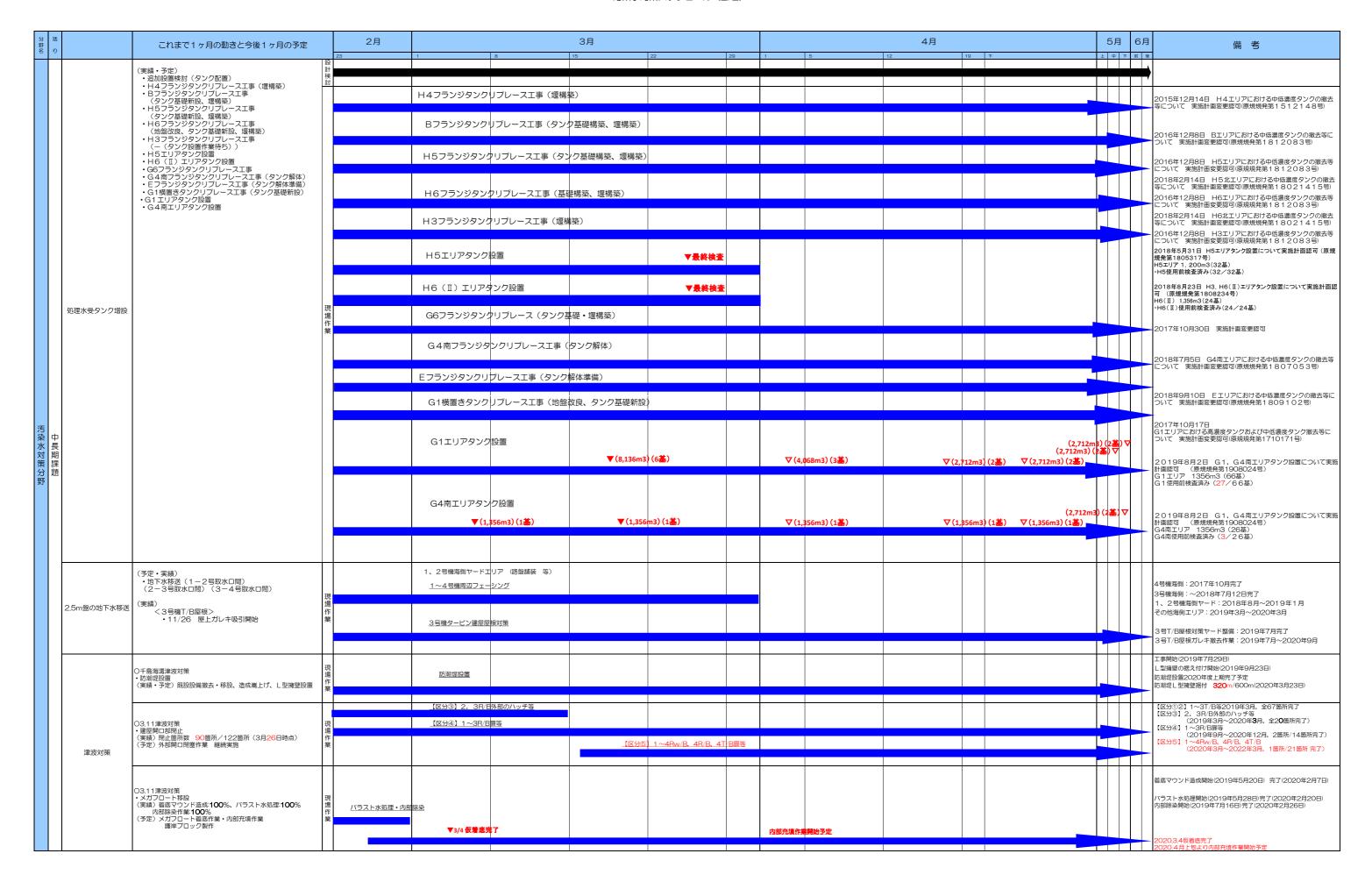
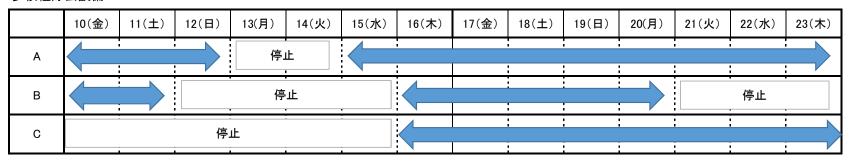
汚染水対策スケジュール(1/2)

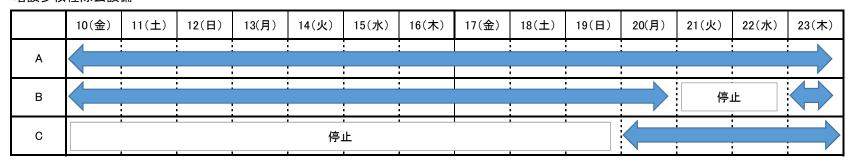




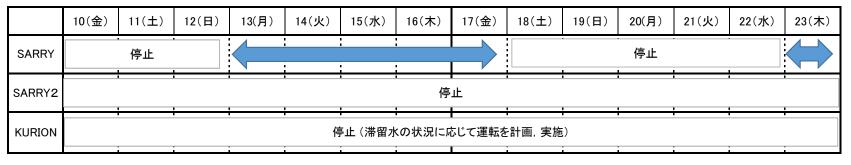
多核種除去設備



增設多核種除去設備



セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)



[※] 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について (2020年4月10日~2020年4月16日)

2020年4月17日 東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位					タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位		
	1号機	2号機	3号機		4 号 機	1号機	2 号 機	3号機	4 号 機	1号機	2号機	3 号 機	4 号 機	プロセス		サイトバンカ
			ポンプエリア	南東エリア	マウルス	171%	2 7 182	0 7 JAK	가기였	1つ1成	271%	0 7 182	4-7-19X	主建屋	建屋	建屋
4月10日	-1836	-1769	-1928	-2291	-2521	-	-1578	-1235	-1479 以下	ı	-1184	-1197	-1519 以下	288	42	2699
4月11日	-1873	-1751	-1926	-2310	-2679	1	-1616	-1317	-1479 以下	-	-1182	-1197	-1519 以下	446	-46	2700
4月12日	-1876	-1776	-1947	-2156	-2612	-	-1578	-1307	-1479 以下	ı	-1181	-1197	-1519 以下	516	-46	2699
4月13日	-1868	-1767	-1956	-2053	-2673	1	-1558	-1299	-1479 以下	ı	-1180	-1197	-1519 以下	596	-46	2699
4月14日	-1856	-1751	-1788	-2221	-2628	1	-1535	-1227	-1479 以下	ı	-1290	-1251	-1519 以下	689	-46	2699
4月15日	-1865	-1755	-1751	-2194	-2596	1	-1512	-1280	-1479 以下	-	-1267	-1240	-1519 以下	572	234	2699
4月16日	-1875	-1772	-1814	-2189	-2576	-	-1487	-1260	-1479 以下	ı	-1394	-1237	-1519 以下	504	328	2699
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796		-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	-

備考欄

- ※ T.P.表記(単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水除去完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋は水位計の測定下限値以下まで水位低下(2018年7月)
- ※ サイトバンカ建屋水位は、流入量調査のため一時的に水位計の測定下限値以下まで水位低下(2019年4月16日~)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日~)
- |※ 4号機タービン建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2019年12月27日~)
- |※ 4号機廃棄物処理建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2020年1月17日~)

3号機T/Bサービスエリアモルタル流入事象に伴う サンプピットの復旧状況について

2020年4月17日

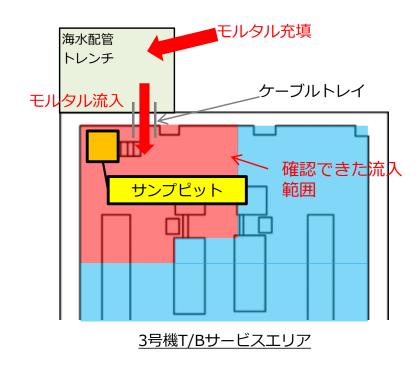


東京電力ホールディングス株式会社

1. 背景



- 3号機海水配管トレンチについては、建屋滞留水が流入していたことから、充填閉塞工事を実施し、タービン建屋接続部を除き2016年3月に工事完了。
- 建屋接続部については、建屋滞留水の水位低下に合わせて充填することとしており、2019年11月 頃から充填工事を再開したところ、ケーブルダクト貫通部を通じて、建屋滞留水移送設備(ドライアップ設備)側の工事エリア(サービスエリア)にモルタルが流入したことを確認(12月3日)
- 建屋滞留水移送設備側の工事は、遠隔ロボット等を用いて干渉物撤去を終えたところであり、ドライアップ用の排水ポンプをサンプピットへ投入予定であったが、当該ピット内にモルタルが流入したため、排水ポンプが投入出来ない状態となった。
- また、床面にもモルタルが広がり、サービスエリアに流入した地下水等を堰止めする形となった ため、サンプピットに地下水等が集水されず、床面露出維持が困難な状況となった。



サンプポンプ サンプカバー 滞留水 流入モルタル

3号T/B サービスエリア サンプピット (モルタル流入後のイメージ)

2.1 サンプピットの復旧作業



- サンプピットは、水位計(LS)(2体)を強制的に引抜き、ピット内に空隙を確保(図1)。
- LS引抜き後の穴を起点にピット内のモルタル削り作業を進めており、排水ポンプを設置できるだけの空間を確保。(表 1)
- はつりを進めたものの、既設のポンプを引き抜くには至らず、サンプピット容量の低下に伴い、ポンプの起動回数が著しく増加する可能性を確認(移送ライン立ち上がり部の戻りによって、ピット内水位が当初想定より高くなり、起動水位に達してしまうため)。戻り水を減らすため、移送ラインに逆止弁を追加する必要があり、実施計画変更を申請予定。(図2)

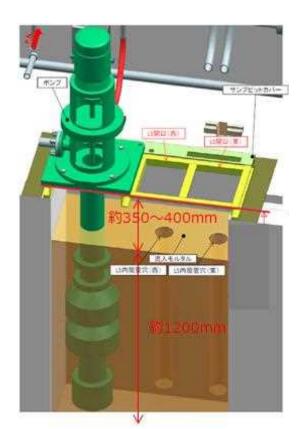


表1 削り前後のサンプピット内の状況比較

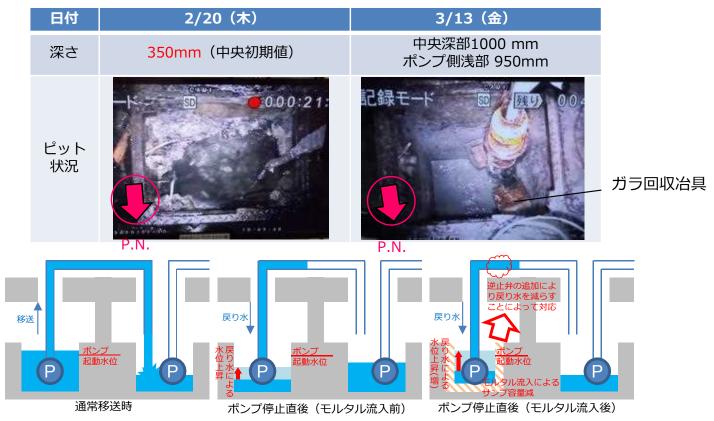


図1 サンプピットの状況(1/20時点)

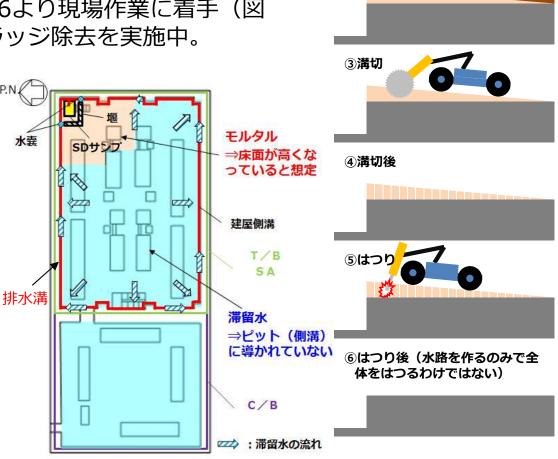
図2 モルタル流入前後のサンプピットの戻り水のイメージ

2.2 床面の復旧作業

ピット周辺の状況 (イメージ)

TEPCO

- 当該ピットは排水溝を伝ってサンプピットに導水される構造であるが、当該ピット周辺の床面にもモルタルが流入したため、堰止められ、導水されない状況となる(図1、2)。
- 遠隔ロボットで床面のモルタルを削り、ピットに導く 水路を構築する工事のモックアップを実施し、4/6から作業準備を開始し、4/16より現場作業に着手(図 3)。現在、②の床面スラッジ除去を実施中。



①初期状態

サンプ

モルタル

②床面スラッジ除去

スラッジ

躯体



ローダーロボット(実機)



溝切ロボット(モックアップ機)



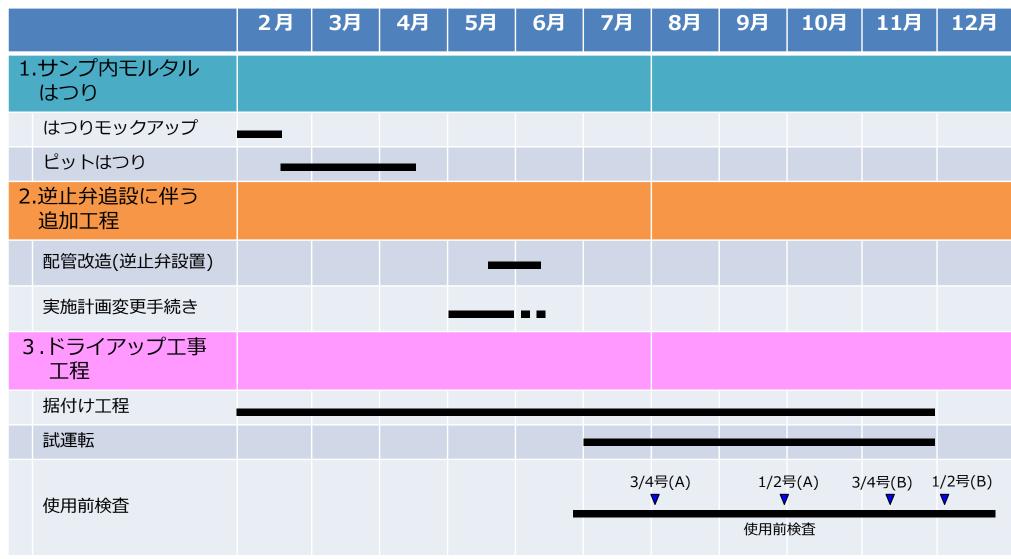
はつりロボット(モックアップ機)

図2 ピット周辺の水抜き後の残水状況

3. 工程(案)



■ モルタル流入事象を踏まえたサンプピットの復旧作業およびサンプに導く水路構築作業は、当初の工事工程内に完了する見込みでおり、ドライアップ工事工程への影響はない。



【参考】変更予定箇所



■ 実施計画の変更内容 実施計画 II 章2.5 汚染水処理設備等 添付資料16 別紙1

